

中間ディスクロージャー誌

R 2010

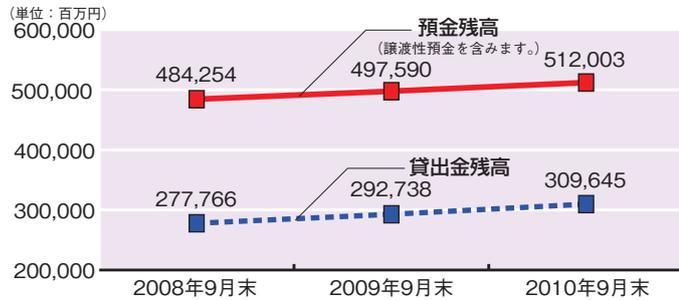
〈事業と財務状況のご案内〉

いまこそ、ろうきん。

長野県労働金庫

預金・貸出金の残高推移

2010年9月末の預金残高については、512,003百万円となり、2010年3月末から11,976百万円の増加となりました。貸出金は、309,645百万円となり、4,297百万円の増加となりました。



自己資本比率の高さが、
経営の安定性を見るポイントとなります。

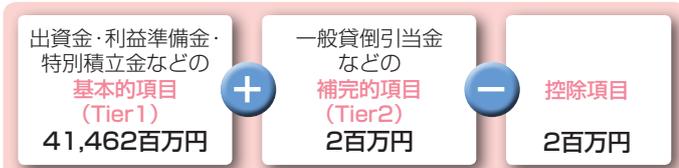
自己資本の額と自己資本比率

2010年9月末の自己資本比率は、17.51% (概算値) となりました。また、自己資本額 (基本的項目 (Tier1)) は、41,462百万円となりました。

【自己資本比率】(※)



【自己資本】



自己資本合計 41,462百万円

リスク・アセット 236,773百万円

$$\frac{41,462}{236,773} \times 100 = 17.51\%$$

自己資本比率 (概算値)

国内業務のみを行う金融機関の自己資本比率は、法令で4%以上 (国内基準) であることが求められています。
 <長野ろうきん>の自己資本比率は17.51%であり、国内基準を大きく上回っております。
 また、自己資本のうち、出資金・利益準備金・特別積立金等で構成された基本的項目 (Tier1) の占める割合が非常に高いため、より健全性が高いと言えます。

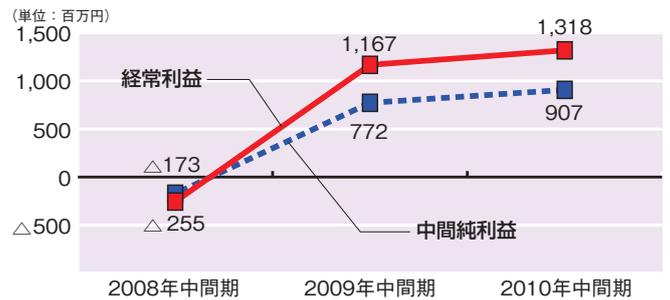
※当金庫では、9月期決算を法定されておきませんが、内部規程に基づき、3月末本決算に準じた仮決算を行っております。上記9月期の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。
 なお、2009年3月期より、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例 (平成20年金融庁・厚生労働省告示第7号) に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお、2009年9月期について、「その他有価証券の評価差損」の額 (△1,287百万円) を控除して計算した場合には、自己資本比率は16.59%となります。

収益の推移

経常収益においては、貸出金残高の増加に伴い貸出金利息が増加する一方で、市場金利の低下により資金証券運用収益が減少したため、前年同期比39百万円減少しました。

経常費用においては、預金残高が順調に増加しましたが利回りの低下により資金調達費用が減少し、前年同期比で1億90百万円減少しました。

経常収益の減少より経常費用の減少が上回ることとなった結果、経常利益は前年同期比1億50百万円増加の13億18百万円となり、中間純利益は前年同期比1億35百万円増加の9億7百万円となりました。

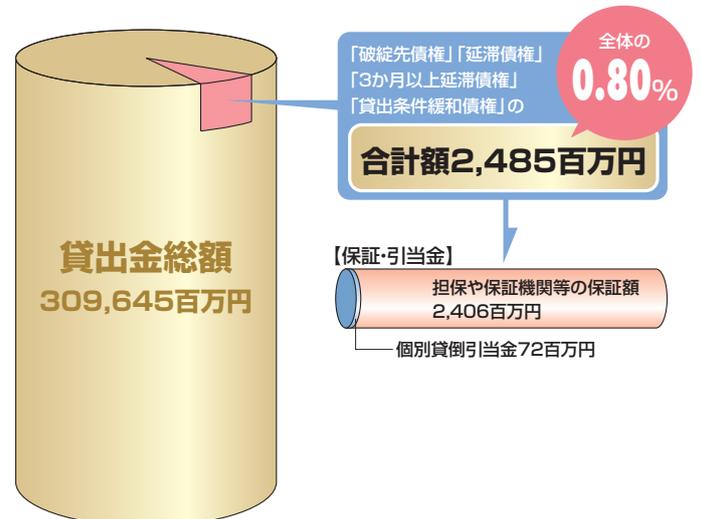


金融機関の健全性を見るには、
不良債権の状況を知る必要があります。

リスク管理債権について

2010年9月末における不良債権額等の状況は、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」の合計で2,485百万円となり、総貸出金に占める割合は0.80%という低水準を維持しています。

また、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」の合計額2,485百万円のうち、2,406百万円は担保や保証機関等の保証で債権の保全が図られ、72百万円は個別貸倒引当金により、1百万円は一般貸倒引当金により引当てを行い、保全措置を図っています。



貸借対照表

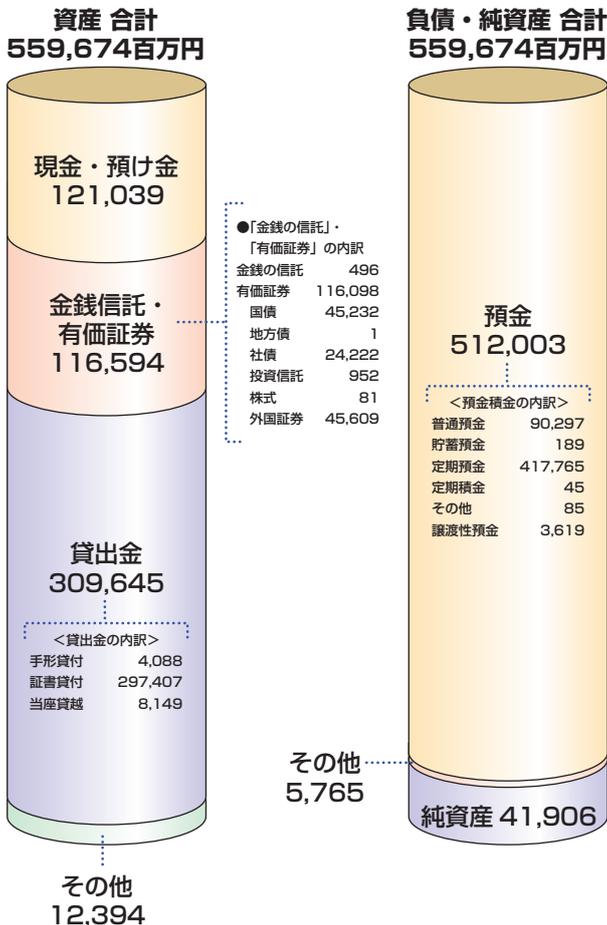
(単位:百万円)

資産の部	2009年9月末	2010年9月末
現金	3,576	4,695
預け金	99,656	116,344
金銭の信託	494	496
有価証券	133,927	116,098
貸出金	292,738	309,645
その他資産	6,917	6,514
有形固定資産	3,776	4,567
無形固定資産	12	13
繰延税金資産	1,245	1,043
債務保証見返	399	330
貸倒引当金	△77	△74
合計	542,667	559,674

負債及び純資産の部	2009年9月末	2010年9月末
預金積金	495,344	508,383
譲渡性預金	2,246	3,619
その他負債	3,110	2,977
代理業務勘定	8	6
引当金	2,472	2,451
債務保証	399	330
負債の部合計	503,581	517,768
出資金	2,014	2,425
利益剰余金	38,360	39,038
処分未済持分	△1	△1
会員勘定合計	40,373	41,462
その他有価証券評価差額金	△1,287	443
評価・換算差額等合計	△1,287	443
純資産の部合計	39,085	41,906
合計	542,667	559,674

資産と負債・純資産の状況

(単位:百万円)



損益計算書

(単位:百万円)

科目	2009年中間期	2010年中間期
経常収益	5,354	5,315
資金運用収益	4,969	4,895
役員取引等収益	89	88
その他業務収益	148	319
その他経常収益	146	11
経常費用	4,186	3,996
資金調達費用	847	671
役員取引等費用	359	384
その他業務費用	128	23
経費	2,828	2,914
その他経常費用	23	3
経常利益	1,167	1,318
特別利益	0	14
特別損失	34	2
税引前中間純利益	1,133	1,330
法人税、住民税及び事業税	375	386
法人税等調整額	△14	36
法人税等合計	361	423
中間純利益	772	907

主要な事業の状況を示す指標

(単位:百万円)

項目	2009年中間期	2010年中間期
経常収益	5,354	5,315
経常利益	1,167	1,318
中間純利益	772	907
業務純益	1,085	1,340
常勤従業員数(人)	381	387

主要な業務の状況を示す指標

(単位:%)

項目	2009年中間期	2010年中間期
資金運用利回	1.87	1.80
資金調達利回	0.34	0.26
資金調達原価率	1.46	1.39
資金利鞘	0.41	0.41
預貸率(末残)	58.83	60.47
預証率(末残)	26.91	22.67

※預貸率・預証率
金融機関が調達した資金(預金積金・譲渡性預金)のうち、貸出金と有価証券で運用している割合をそれぞれ表しています。

金額、比率の表示方法

- 金額単位
 - 各表に表示した金額単位未満の端数は切り捨てて記載しています。
 - 小計、合計等の合算は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- 諸利回り・諸比率

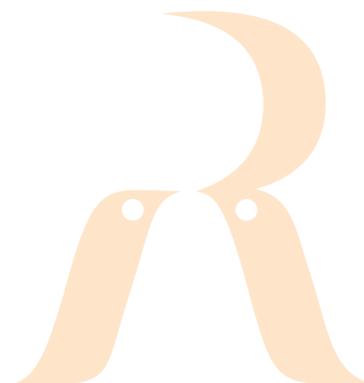
小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。

本誌は、当金庫の経営内容を多くの皆様にご覧いただくために、2010年9月末時点の経営情報を取りまとめ報告するものです。
半期決算は法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっておりません。

「生活応援」。 わたしたちがいちばん大切にしたい言葉です。

働く人たちのお金を、
働く人たち自身の手で、
働く人たちのために運用する金融機関として、
長野ろうきんは1951年（昭和26年）に誕生しました。

企業のための金融機関はあっても、
働く人のための金融機関がないという当時の金融制度のなかで、
長野ろうきんは働く仲間がお互いを助け合うために
資金を出し合ってつくった協同組織の金融機関です。



ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

長野県労働金庫の概況（2010年9月末現在）

名 称	長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長（登金）第268号	代 表 者	理事長 瀧澤 一夫
本 店 住 所	〒380-8611 長野県長野市県町523番地	常 勤 役 職 員 数	387人（男268人、女119人）
電 話 番 号	(026) 237-3700	店 舗 数	21店舗、3出張所、 7ローンセンター
ホームページ	http://www.nagano-rokin.co.jp/	出 資 金	2,425百万円
モバイルサイト	http://www.nagano-rokin.co.jp/mobile/	預 金 残 高	512,003百万円
創 立	1951年（昭和26年）12月	貸 出 金 残 高	309,645百万円

※預金残高は譲渡性預金を含みます。